

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年8月6日（水）12：00～12：40

場 所：日本薬剤師会 小会議室4

出席者：岩月会長、上野専務理事、山田武志常務理事

内容・提出資料：

1. 第58回日本薬剤師会学術大会（京都大会）について

山田常務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

10月12日（日）、13日（月・祝）、京都市・国立京都国際会館で開催する第58回日本薬剤師会学術大会では、特別記念講演特別企画を2題、特別講演を4題、また初めての試みとして、特別鼎談を企画した。特別鼎談は、「薬機法改正とこれからの薬剤師」と題して、本議論の中核を担った前厚生労働省医薬局医薬局長の城克文氏をお招きし、本会の岩月進会長、森昌平副会長とともに、その想いやビジョンをお話しいただく。その他、岩月会長の講演や、18の分科会、2つのワークショップ、ランチョンセミナー等で構成する。

また、今大会からオンデマンド配信の視聴でも「日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度（PECS）」の単位が取得できる仕組みを導入予定である。これまでは現地参加またはライブ配信の視聴のみで単位取得が認められていたが、会員からオンデマンド配信の希望が多く寄せられていたこと、主催者側にとっても現地とライブのハイブリッド開催がコスト面・運用面で負担となっていたことから、日本薬剤師研修センターと協議の上、準備を進めているところである。是非、現地参加で参加者同士の議論、交流など深めていただきたいが、遠方の方、当日都合がつかない方はオンデマンド視聴をご利用いただきたい。

オンデマンドは、大会終了の1か月後から約1か月間の配信を予定している。現地参加の場合と参加費用は変わらず、取得できる単位数も同じ計6単位となる。現地参加、オンデマンド視聴かは当日まで変更が可能。現地で1日分でも単位を取得した場合は、オンデマンド配信を受講しても単位の取得はできない。すなわちいずれかでの単位申請が可能となることにご留意いただきたい。また、単位取得を目的としたオンデマンド配信とは別に、現地参加の場合でも時間帯の重複により聴講できない分科会が出てくることから、後日視聴できるように別チャンネルを用意させていただく。早送り、巻き戻しなども可能となる予定。今後は、このように現地参加とオンデマンド配信により参加者のメリットを高めていきたいと考えている。

事前参加登録については、本日（8月6日）午前9時現在、6,978人（一般6,850人、学生128人）となっている。この内、現地参加者は5,323人、オンデマンド視聴による単位取得を申請した方は886人である。オンデマンド視聴のメリットは非常に大きいと考えており、今後のオンデマンド視聴の伸びにも期待したい。

大会懇親会は、国立京都国際会館に隣接するザ・プリンス京都宝ヶ池で、12日（日）19時より開催する。京都の地酒の試飲、大学生応援団の圧巻、感動のパフォーマンスなどを予定している。現地参加の方は是非ご参加いただきたい。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈学術大会について〉

記者：例年、参加者が集中する分科会では、会場が満席になると、プレスも一般参加者同様に会場に入ることができない状況になる。要望であるが、取材という観点からご配慮をいただけないか。

山田常務理事：あらかじめ参加者数を予測の上、会場の割り振りを行っているが、会場によっては想定以上の参加希望がある。京都府薬剤師会に共有し検討させていただく。

記者：日本薬剤師研修センターが、学術大会の単位取得要件としてオンデマンド視聴を可としたのはどういった背景か。

山田常務理事：昨年度より PECS の単位取得要件に研修会のオンデマンド視聴が追加されたことが前提としてあった。多くの学会等がオンデマンド配信を取り入れていること、ライブ配信の場合、子育て中の方が参加しづらいなど、会員の声を研修センターに共有することでスムーズにご検討いただけた。

〈認定薬局について〉

記者：7月30日、「薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会」が開催され、地域連携薬局と健康増進支援薬局の認定基準を検討する上での基本的な考え方が示された。会員薬局に対しては、どの認定を取ることを望まれるか。

岩月会長：医薬品提供体制を如何に実現するか、今まさに各地域の薬局が問われている。地域や自身の薬局に不足していることを整理し、地域で連携、調整していくことが重要である。

〈地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト関連：厚労省予算事業「薬局機能高度化推進事業」について〉

記者：予算事業に絡んで、何かご説明いただけることはあるか。

上野専務理事：予算ありきではなく、各地域でアクションリストの各項目を実現していく中で、厚労省の予算を利用できるものがあれば申請、活用をいただきたいと考えている。都道府県薬剤師会にはそういった説明を差し上げた。その過程で、本会として支援・アドバイスできることについては適宜対応していきたい。

次回の定例記者会見は、令和7年8月28日（木）15：00～を予定。